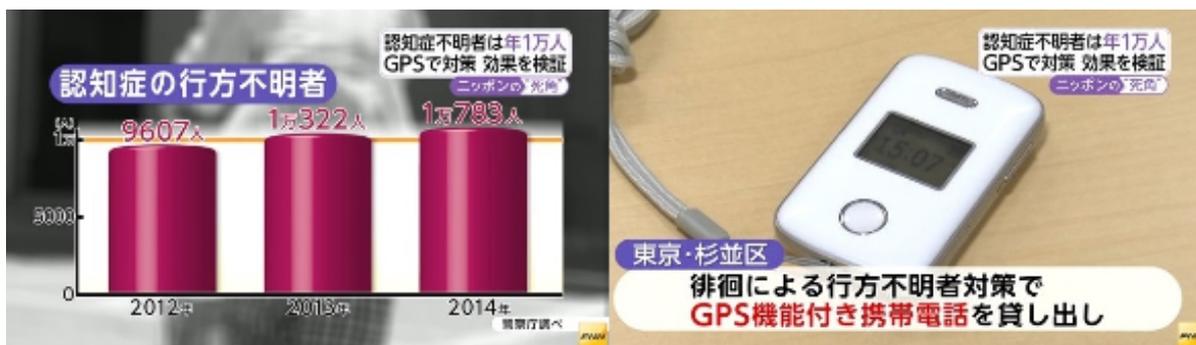


「FNNスピーク」に放送されました

2015年9月22日フジテレビ系列『FNNスピーク』の「ニッポンの死角 認知症行方不明者の対策」でホームネットのサービスが放送されました。



認知症が原因で行方不明になる人は、2年連続で1万人を超えています。その大半が無事発見されていますが、一部の人は現在も行方がわかっていません。増加する認知症行方不明者の対策として、ホームネットが東京・杉並区から受託している「徘徊高齢者探索システム」について取材いただきました。

認知症不明者は年1万人 GPSで対策 効果を検証 ニッポンの死角

区役所

行方不明

依頼

連絡

管理会社

種田 聖保長

東京に住んでいるけれど
神奈川で見つかったというケースもある

杉並区では、徘徊による行方不明者を早期に発見するため、GPS機能付き携帯電話を貸し出しています。行方不明になった場合、ご家族の方からの依頼を受けて管理会社であるホームネットが居場所を調べ、ご家族に現在地を知らせるサービスです。

管理会社
杉並区の利用者から毎月数件の問い合わせ
→これまで全員が無事発見

毎月数件の問い合わせがありますが、全員無事に発見されています。

番組サイトに取材内容が詳しく掲載されておりますので、是非ご覧ください。

【番組URL】 <http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00303731.html>